

# みさき

60号



議会HPへアクセスします

美咲町議会だより

2020年5月11日発行



## 主な内容

特集 **ひと輝くまちみさき** 青野町長所信表明 ②~③

令和2年度予算審議 ④~⑦

**こんなことが決まりました** ⑧~⑨

10議員が町政を問う ⑬~⑲

大きく育て美咲の子ども あした心あたたかく育つ未来へ

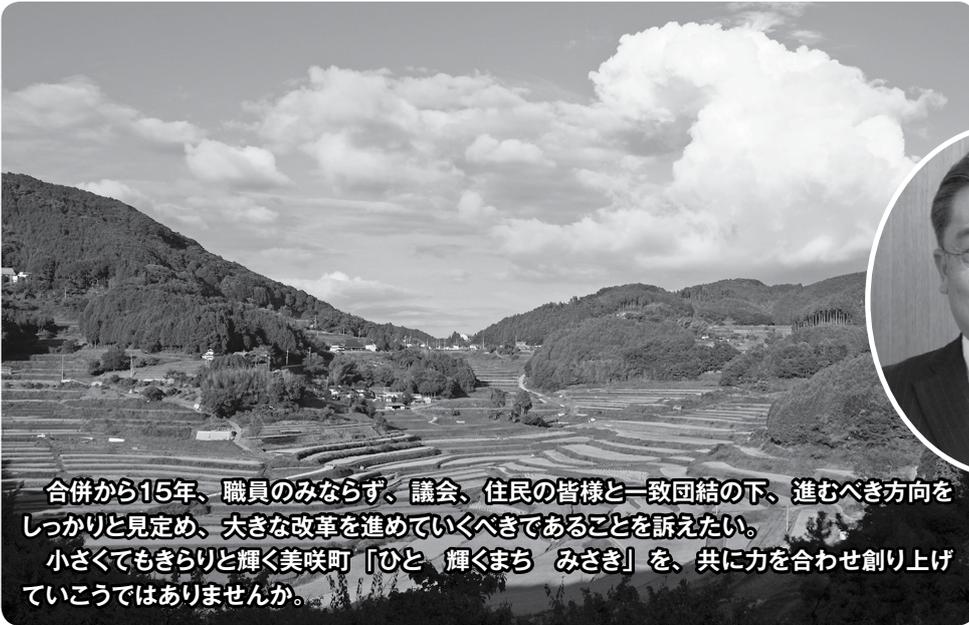
美咲町HPアドレス <https://www.town.misaki.okayama.jp>

表紙関連記事22ページ

# 特集

## ひと輝くまちみさき

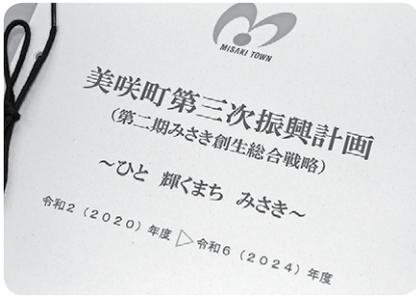
### 青野町長 所信表明



合併から15年、職員のみならず、議会、住民の皆様と一致団結の下、進むべき方向をしっかりと見定め、大きな改革を進めていくべきであることを訴えたい。  
小さくてもきらりと輝く美咲町「ひと輝くまちみさき」を、共に力を合わせ創り上げていこうではありませんか。

#### 「美咲町第三次振興計画」の策定

人口減少・歳入縮小時代を見据えた新しいまちづくりへの転換を図り、持続可能なまちづくりを協働で進めていくために美咲町第二次振興計画を大幅に見直し、令和2年度から5年間の第三次振興計画を策定しました。



#### 「新町建設計画」の大幅な見直し

合併後の美咲町のマスタープランである「新町建設計画」について、複雑かつ多様化する地域課題や住民ニーズに的確に対応するため、内容を大幅に見直しとともに有効期間を令和6年度末まで延長しました。



#### 公共施設再整備を推進

旭地域の西川エリア交流拠点整備事業を推進し、中央地域は役場本庁舎のあり方を示す基本構想の検討に着手します。



#### 「行財政改革大綱」の策定

厳しい財政状況の中で、未来に負担を残さず、持続可能なまちづくりを行っていくため、早急に行財政改革大綱を策定します。



### 観光振興への取り組み

観光協会のない本町の観光振興に戦略的に取り組むため、DMO（観光地域づくり法人）設立に向け、調整を進めます。



### 新型コロナウイルスへの対応

新型コロナウイルス感染対策本部を設置し、感染拡大防止に取り組めます。



### 学校教育への取り組み

本年4月から、町内の全小中学校を地域ごとに小中一貫教育校に指定します。  
 柵原地域義務教育学校の用地購入費・造成工事費など予算化します。



## 議会からの質疑

#### 児童・生徒の居場所づくりは

藤井智江 議員



**問** 新型コロナウイルス対策として町内全小・中学校が休校している。児童・生徒の居場所は確保できるか。

**答** 今後の感染状況の推移、児童・生徒の健康と安全面、教育保障の確保面や居場所確保など、随時検討し総合的に判断したい。

#### 行財政改革大綱の手順は

松田英二 議員



**問** 行財政改革大綱の策定について、策定手順と計画期間を確認したい。

**答** 令和2年度中に外部有識者を加えた行財政改革審議会を開催し、5カ年の計画を予定している。必要であれば実行計画も策定したい。

#### 北部町民グラウンド跡地利用は

山田雄二 議員



**問** 美咲町北部町民グラウンドの廃止について、工場進出が見込めるような問い合わせの内容は。

**答** 現在の工場の拡張用地とか、売却予定地の有無の確認とか、複数の照会を受けている。

#### コンパクトなまちづくりとは

延原正憲 議員



**問** 中央地域の新庁舎を中心としたコンパクトなまちづくりとは、国が進めるコンパクトシティのことなのか。

**答** 国土交通省が地方都市で進めているコンパクトシティではなく、全国の中山間地で進められている小さな拠点を想定している。

令和2年度  
当初予算案

# 62項目の 意見を付して 賛成多数で承認

各委員が予算や事業内容をチェック



4日間にわたり予算特別委員会を開催し、令和2年度予算案について各委員からの意見を集約。

予算特別委員会の報告書を  
松島議長へ提出



予算審査において各議員から出された指摘事項62項目をまとめた報告書を松田委員長、左居副委員長から松島議長へ提出。

議会からの要望書を青野町長へ提出



予算特別委員会からの報告書を基にまとめた議会からの要望書を松島議長、金谷副議長から青野町長へ提出。



# 予算特別委員会からの報告

予算特別委員会は、新年度で執行される予算が適正なものであるかを確認するため、全ての課が所管する予算について審査を担当しています。

委員長／松田英二 副委員長／左居喜次 ほかに全議員を委員とする13人で審査しています。

## 全体総括意見を付す！

本会議での委員長報告において指摘した特に付しておくべき意見は以下の通りです。

意見

### 予算編成の柔軟な対応

令和2年度当初予算案審査の過程において、会議が紛糾する場面が発生した。

地方議会は地方公共団体の意思を決定する機能および執行機関を監視する機能を担うものである。

疑義が生じたものに対して意見を述べるのは議会当然の権利であり、執行部側がその意見に耳を傾け、歩み寄る姿勢を示すよう強く求めるものである。

意見

### 積極的な自主財源確保

合併当初と比較して3,000人以上の人口減少が進む中、町の有力な財源となる地方交付税や町税が年々減少していく状況では今後の予算編成は困難を極める状態が続くことが予想される。

今後、滞納金の計画的な回収と行政財産の積極的な売却などによって自主財源の確保に努めなければならない。

意見

### 民間活力導入事業の精査

本町における民間活力導入事業としては指定管理者制度があり、現在、この制度を利用して町内43公共施設の管理委託が行われているが、本来の制度の内容は民間活力の導入によって経費の削減とサービスの向上を目指すものとされている。

今後、民間活力導入全般についての考え方を協議し、指定管理の次期契約更改時となる令和3年度までに対象事業の精査など総合的な見直しが必要である。

意見

### 業務の引き継ぎは細心の注意

職員の人事異動・退職などによって業務の引き継ぎが行われる際に、前任担当者や町民との間で交わされた約束事が新任担当者へ十分に引き継がれなかった場合トラブルが発生する。

そのトラブルが原因となって後年他の事業にまで影響を及ぼし、事業そのものが中止に追い込まれてしまう可能性も出てくる。業務の引き継ぎに際しては伝える側も受ける側も細心の注意を払って臨まなければならない。

意見

### 義務教育学校の基本構想

令和6年4月の開校を目指し整備を計画している義務教育学校については、建設用地を早期に確定させ、校舎などの施設配置、財源と概算事業費の算定、児童・生徒の通学方法やカリキュラムの編成といった基本的な構想の早急なとりまとめが必要である。

さらには跡地活用についても十分協議し、関係機関などと綿密な連携をとりながら、住民と一緒に地域を創り上げていかなければならない。

意見

### 合併特例債の有効活用

第三次美咲町振興計画に示されている旭地域のあさひ未来デザイン、柵原地域の義務教育学校、中央地域の亀の甲エリア再編成、各地域の拠点施設整備などの重要施策は正に今ここから新しい町を創り上げていこうとする夢のある事業である。

本町に残された合併特例債枠52億円の有効活用策について、第三次振興計画の期限内にその具体化への道筋が示されることを期待する。



- 9月定例会：前年度決算を審議・認定
- 議会からの指摘・意見をとりまとめ
- 新年度予算などへの要望書を提出
- 3月定例会：新年度予算案を審議・承認

予算特別委員会では、決算審査で指摘した内容が「新年度予算に反映されているか」という視点で審査を行いました。

# 予算審査 私の意見!

一般会計 109億9,223万円(前年度比 9.4%増)  
 17特別会計 59億3,480万円(前年度比15.6%減)  
 水道事業会計 8億4,861万円(公営企業会計に移行)

全議員13人を委員とする令和2年度歳入歳出予算特別委員会が設置され、3月10日から4日間にわたり予算審査を行いました。

今回の審査では、決算審議における議会からの指摘事項が新年度予算編成および役場の運営にどのように反映されているのかといった点を中心に審査を行いました。

ここでは各委員から出された62項目の指摘事項のうち主な意見を掲載します。

## 福祉・教育

主な事業 高齢者福祉、障がい者福祉、児童福祉、学校教育など

民生費	29億2,322万円
教育費	18億4,519万円



松島委員

### 電子母子手帳の普及

電子母子手帳は情報伝達の手段として期待が大きい事から有効な普及を求める。



金谷委員

### 長寿者祝い金の支給

長寿者祝い金の支給については民生委員と協議の上で誕生日の支給を求める。



藤井委員

### 図書館司書の学校派遣

児童・生徒の健全な育成のため図書館司書を確保して学校への派遣継続を求める。

## 安心・安全

主な事業 公共施設管理、防災、国際交流、情報通信、など

総務費	13億2,667万円
衛生費	10億2,728万円



左居委員

### 防災教育などの充実

新設する消防団の訓練場については防災教育など幅広い活用を求める。



山田委員

### 地域住民への説明責任

公共施設の廃止・除却などについては住民に対しての丁寧な説明を求める。



松田委員長

### 災害への機器配備

災害時の緊急性を考慮し避難所へのみさきネット関連機器の配備を求める。



# 創設に向けた動きを活発化

一般会計新年度予算など62件の議案が議決されました。

## 義務教育学校創設に着手

柵原地域義務教育学校創設に向けて、用地費、補償費、造成工事費などを計上。具体化に向けた活動に着手する。

〔学校建設費 6億4,250万円〕



## 旭地域生き活き拠点整備

旭三休公園内にある民話館に改修工事を施し、西川コミュニティハウスにエアコンを設置して施設連携を強化させる。

〔企画管理費 4,010万円〕



## 片上鉄道車両保存の車庫整備

柵原ふれあい鉱山公園で動態保存している旧片上鉄道車両の車庫を黄福柵原駅に整備する。

〔観光費 2,100万円〕



## ぶどうハウス・棚整備への補助金

ぶどうの産地化・収益向上を目指し、JAが主体でハウス・ぶどう棚の整備を進め、生産農家の所得向上を図る。

〔農業振興費 2,500万円〕



## 条例

美咲町手話言語条例を制定

手話への理解や普及への取り組みを推進するために制定する。

美咲町北部町民グラウンド条例の廃止

近隣にエイコンパークが整備されたことに伴い、本施設の当初の目的が達成されたため廃止する。

美咲町大坪和ひとり暮らし老人共同生活支援施設設置及び管理に関する条例の廃止

施設の老朽化に加え、社会ニーズに適合しなくなったため廃止する。

香花温泉ほほえみの湯設置及び管理に関する条例の廃止

利用者は減少し、赤字運営が続いており、今後の見通しが立たないため廃止する。

## 要望

商工業振興事業補助金(小規模事業者経営改善普及事業及び地域総合振興事業)の予算措置についての要望

久米郡商工会  
会長 大崎 俊男

小規模事業支援は重要であり、全会一致で採択とした。

# 3月議会

でこんなことが  
決まりました

# 柵原地域義務教育学校の

令和2年2月28日～3月19日まで定例議会が招集され

## 消防団の訓練場を新たに整備

美咲町消防団が活用する「水出し操法訓練場」を中央地域太陽の広場へ新たに整備する。

〔消防設備費 2,350万円〕



## 加美小学校改修第2期工事へ

加美小学校大規模改修第2期工事として管理教室棟、屋内運動場などの改修工事を実施する。

〔小学校管理費 3億3,734万円〕



特集

予算委員会の報告

定例会の報告

委員会の報告

町政を問う一般質問

その他・報告

○は賛成 ×は反対 (議長は採決に加わりません)		松島議長	金谷議員	山本議員	貝阿彌議員	岩野議員	江原議員	松田議員	林田議員	左居議員	延原議員	形井議員	藤井議員	山田議員
議案第14号	香花温泉「ほほえみの湯」設置及び管理に関する条例の廃止	議長	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	×	○
議案第37号	令和2年度一般会計当初予算案	議長	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○

### 【議案に対する討論】

【議案第37号】 予算特別委員会の審査結果は強い意見を付して承認	<b>【予算案に反対】</b> 住民福祉向上への負託に応えなければならない議会費の減額は容認できないものがあり、修正可決すべきとの考えから予算案には反対する。	貝阿彌議員
	<b>【予算案に反対】</b> 民生教育常任委員会の意見として図書館司書9人体制を求めていたが、予算案と答弁が異なっている状況では認めることができない。よって予算案に反対する。	藤井議員
	<b>【予算案に賛成】</b> 当初予算案の中には住民生活に欠かすことができない重要な予算が多数含まれている。よって予算案に賛成する。	松田議員
	<b>【予算案に賛成】</b> 今回の予算審査は、時間をかけて執行部側の説明を受けて真剣に議論し、練り上げた結論が意見を付しての承認であった。よって予算案に賛成する。	延原議員

意見の分かれた議案

# 委員会 の活動

## 総務・産業常任委員会からの報告

総務・産業常任委員会は、総務課、理財課、地域みらい課、くらし安全課、上下水道課、建設課、産業観光課が所管する予算その他の案件について審査を担当しています。

委員長／山本宏治 副委員長／延原正憲 委員／松田英二、江原耕司、岩野正則、貝阿彌幸善の6人で審査しています。

### 【総務課】 非常勤職員等の報酬条例改正

- 問 今回の条例改正は、職種の整備が理由であるが、金額の見直しはしないのか。
- 答 近隣の市町村の状況も調査し、令和2年度中に検討を行い、令和3年度から適用したい。

### 【理財課】 総合管理計画の推進

- 問 公共施設等総合管理計画の実施状況はどうか。
- 答 令和元年度中に建物約170棟の点検をすべて完了し、6月までに施設カルテを作成する。

### 【地域みらい課】 町営分譲住宅団地の売却

- 問 令和元年度中の売却実績はどうか。
- 答 錦織団地全6区画、西川清水団地2区画、王子団地2区画計10区画を売却できた。残る6区画売却へ努力する。



完成間近の藤原1号ポンプゲートの現地視察を行った。  
内水対策の切り札として、早期整備が望まれる。

### 【くらし安全課】 おくやみ放送再開

- 問 みさきテレビのおくやみ情報はいつから再開するのか。
- 答 新しいシステムにより令和2年4月1日から情報提供できるようにする。もっと利用しやすい画像に改良する。

### 【産業観光課】 プレミアム商品券の利用

- 問 今回実施したプレミアム商品券の申請実績はどうか。
- 答 対象3,879人のうち873人の申請があった。申請率は24.3%である。なお、岡山県全体の申請率は40.8%であった。

### 【産業観光課】 侵入防止柵補助金の減額

- 問 農作物鳥獣被害防止補助金が1千万超の減額となった理由は。
- 答 予算要求時点のフェンス単価が実績で大幅に安価となったことが要因であり、実施総延長は3.3km増加している。

# 民生・教育常任委員会からの報告

民生・教育常任委員会は、住民税務課、保険年金課、健康推進課、徴収対策室、福祉事務所、教育総務課、生涯学習課が所管する予算その他の案件について審査を担当しています。

委員長／左居喜次 副委員長／形井 圓 委員／山田雄二、藤井智江、林田 実、金谷高子の6人で審査しています。

## 【福祉事務所】 手話言語条例制定

問 手話言語条例制定の趣旨は。

答 障害者基本法で言語として認められた手話への理解を深め、住民への周知、職員研修、手話講座の開催などを行う。

## 【福祉事務所】 友愛荘の廃止

問 「友愛荘」とは、どんな施設か。

答 正式名称は「大井和ひとり暮らし老人共同生活支援施設」で、老朽化に加え利用者も減少し、ここ2年間は利用がなかった。

## 【住民税務課】 交通災害共済事業の廃止

問 交通災害共済事業廃止の理由は。

答 加入率が低下し、集金業務が年々困難になったため事業を廃止する。



美咲町北部町民グラウンド(百々地内)

美咲町北部町民グラウンドを視察した。体位の向上と健康増進という目的で利用されてきたが、同様の目的で柵原エイコンパークが整備されたため廃止するとの説明を受けた。

今後の有効活用が求められる。

## 【健康推進課】 西川診療所の指定管理者

問 指定管理の内容は。

答 社会福祉法人緑社会金田病院が西川診療所の指定管理者となる。令和2年度からは、月・火・木・金の週4回、午前中のみ診療を行う。

## 【健康推進課】 香花温泉「ほほえみの湯」の廃止

問 香花温泉「ほほえみの湯」廃止の理由は。

答 町民の交流や健康増進は大切であるが、開館以来15年、施設が老朽化し今後の維持管理に見通しが立たないため。

## 【生涯学習課】 北部町民グラウンドの廃止

問 美咲町北部町民グラウンド廃止の理由は。

答 近くにエイコンパークが整備され、町民の体位の向上と健康増進という当初の目的が達成されたため。

# 町政を問う

一般質問は町民を代表し、

町長・教育長などに

町の方針や施策を問います。

ページ	議員名	質問内容
13	延原 正憲	1. 防災拠点となる役場本庁舎の建替えは 2. 防犯機能付き電話の普及努力を
14	左居 喜次	1. 棚田保全に向けた方策を示せ 2. 大学誘致による活性化を求める
15	山本 宏治	1. 公共施設への町内産材の活用を 2. 高齢者のごみ出しは
16	貝阿彌幸善	1. 少子化対策の課題と目指すべき方向は 2. DMO設立で地元商工業の支援は
17	山田 雄二	1. 振興計画に住民要望をどう生かすのか 2. 義務教育学校への意気込みは
18	金谷 高子	1. 備蓄マスクの配布はできないか 2. フレイル検診の取り組みは ◇ 期日前投票の簡素化を

ページ	議員名	質問内容
19	岩野 正則	1. 町道の管理体制の再検討を 2. 空き家の活用や定住促進に対し制度拡充を ◇ 徴収対策の強化を
20	形井 圓	1. 「ほほえみの湯」設置目的を理解した上での廃止か 2. 介護保険多額の基金の使い道は
21	藤井 智江	1. 国民健康保険税均等割りの減額を 2. 地域活性化に住民の参画を ◇ 災害に備えて地域の避難所への配慮を ◇ 美咲町立の小中学校に勤務する教員の働き方は
22	松田 英二	1. 広域汚水処理に向けた今後の展望は

議会だよりには、2問まで掲載  
しています。  
掲載できなかった質問は◇で  
表示しています。



延原正憲 議員

質問

防災拠点となる役場本庁舎の建替えは

答弁

早急にあり方を検討したい



役場庁舎はどうあるべきか

問

本町も平成30年7月の豪雨災害を経験して地域防災力の向上が求められている。大規模な地震や集中豪雨などの災害に備え、防災備蓄品や資機材の確保が必要となる。

①ブルーシートの備蓄は増加したか。  
②非常用発電機の準備は十分か。  
③昨年9月1日の防災訓練の検証と今年の計画は。

④防災拠点となる役場本庁舎の建替えは喫緊の課題。

答

浦上くらし安全課長  
①約50枚を備蓄しており、今後も購入す

る。  
②本庁・各支所には非常用発電装置を備えている。移動式の発電機も各1台配備している。今後順次整備を図っていきたい。

井上政策推進監  
③昨年の防災訓練を検証し課題も確認できた。

今年9月6日に実施する計画である。

答

青野町長  
④役場本庁舎は築後45年経過しており、大規模災害時に機能不全に陥る可能性は極めて高い。早急に本庁舎のあり方を検討したい。

質問

防犯機能付き電話の普及努力を

答弁

補助制度の啓発普及を図りたい

問

電話による特殊詐欺が社会問題となっている。

本町では平成30年10月から迷惑電話への対応機能付き電話機の購入費補助制度を導入している。

高齢者を犯罪被害から守るため、この制度の早期導入は評価するが、もっと啓発普及を図ることが必要だ。

①この制度の利用状況は。

②町内販売店からの購入条件の見直しは可能か。

③制度の周知を図るとともに、もっと利用しやすい制度に改善する努力が必要だ。

答

浦上くらし安全課長  
①制度導入から一年半となる現在までの利用実績は8件である。②制度導入から間がないので今しばらくは状況を見守りたい。必要であれば、要綱の変更も検討する。

③被害防止のため美咲警察署や関係機関と連携を強化して、啓発普及を図るとともに、高齢者にも特殊詐欺の種類や手口を周知するなど、あらゆる努力をしたい。



備えて安心防犯電話





左居喜次 議員

## 質問 棚田保全に向けた方策を示せ

### 答弁 地域と共に方策を研究していきたい



じいちゃん田んぼどうなるの？  
大丈夫みんなが力を合わせてきれいにしてくれる

#### 問

四季を通じ美しく映える棚田だが、農家の高齢化、農業の担い手減少に加えて機械化が進まず、労働環境も苛酷であることなどから、その維持、保全は容易ではない。

本町においての棚田は、町民憲章にもうたわれており、町を代表する景観となつているが、個人での耕作維持にも限界があり、また営農組織の設立についても、地域全体が高齢化している現状では、設立しても継続は困難であると考える。町として、棚田保全に向けた前向きな方策を示せ。

#### 答

青野町長 棚田地域振興法の施行により、関連する国の事業について制度の拡充や優先的採択を得られることから、都市と農村など地域交流の場として、新たな魅力が注目されている。貴重な景観資源を維持するためには、多くの人に棚田の現状を知っていただくとともに、町内はもとより各方面からの意見や協力をいただきながら、他都市の先進的な事例を含め、地域の人とともに取り組める方策を研究していきたい。

## 質問 大学誘致による活性化を求める

### 答弁 県内外の大学と連携し活性化に取り組む

#### 問

地域活性化の方策の一つとして、美咲町への大学誘致は考えられないか。

大学を誘致することにより、学生の流入と併せて子育て世代の流入も期待できる。

また地元進学の推進による若者の定着、地域産業の活性化、雇用機会の創出など、期待できるメリットが限りなくある。

本町における大学誘致について、誘致の可能性と誘致による付加価値をどのように考えるか。

#### 答

青野町長 本町が持続可能なまちづくりを進める



若者がつどえるまちへ

上で、大学があるかなにかは今後のまちづくりに大きくかかわってくる。

大学誘致にはすぐには至らないが、岡山大学や早稲田大学などの学生と交流を行っており、本町と各大学それぞれの知的資源や人的資源、物的資源、機能を活用して、幅広い分野で協力し、相互の発展、地域社会の発展を目指したい。

また、大学のサテライトキャンパス誘致についても研究を進め、今後も県内外の大学と連携しながら、地域づくり、活性化に取り組む。



山本宏治 議員

# 質問 公共施設への町内産材の活用を

## 答弁 メリット・デメリットを検討する



森林整備により木材の活用を

**問** 本町の森林面積は約1万6,000ヘクタールであるが、林業離れなどによる担い手が減少しており、山林の手入れ不足が起きている。

**答** 林業、製材所関係の従事者のことを考えると、コスト高はあるかもしれないが、地元産、県産材の活用は地域活力の源である。

**問** 公共施設はもちろん、定住目的での住宅建築に町内産材の活用ができないか。

**答** また、新築住宅の補助金の上乗せは考えられないか。

**青野町長** 公共施設への活

用は木材の建築構造材としてのメリット、デメリットを十分検討したい。

**答** 補助金については現行制度を継続していく。

**黒瀬教育長** 柵原地域における義務教育学校の建設については、地元木材利用の可能性を検討したい。

**井上政策推進監** 県は健全な森林の育成、林業および木材産業の持続的な発展に寄与することを目的とし、県産材利用促進条例を制定している。

**答** 今後、公共建築物、学校などについても使っていきたい。

# 質問

## 高齢者のごみ出しは

### 答弁

## 小規模多機能自治体で対応を検討する

**問** 本町のホームページでは、ごみを減らす循環型社会を目指して告知をしている。本町では、家庭ごみの収集業務を各事業者に業務委託しているが、現状の課題を問う。

**答** 高齢者のごみ出しが負担になっていると聞くが、今後の対応策は、クリーンセンターへ搬入されるごみの量は減っているか。

**海ごみ問題では地域の協力が必要ではないか。**

**平住民務課長** 高齢者のごみ出しは今後の課題になると考える。関係各課と連携をとり、小規模多機能自治などで対応を

検討する。

ごみの総搬入量は、減少しているが、粗大ごみについてはシールが安価なため増加している。

**答** 可燃ごみの袋については、現在の45Lのごみ袋の仕様が90%弱の利用である。

ごみの減量など今後PRをして行きたい。

**青野町長** 海ごみについては、マイバックの使用を促し、ごみの投げ捨てが少なくなるよう行政としてしっかりと呼びかけていく。



みんなで作ろうごみの減量化

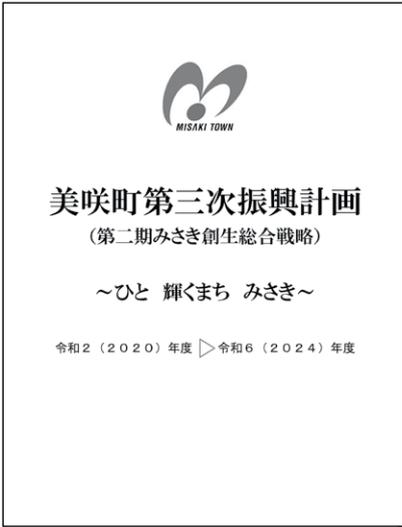


貝阿彌幸善 議員

# 少子化対策の課題と 目指すべき方向は

質問

答弁 目標を定めて新しい計画で取り組む



問

第三次振興計画は発想の転換を図り、他の自治体とは違う政策を掲げていかなければならない。

5年間のまちづくりの中で、行政が柱として進めていかなければならないのは、少子化対策であり、特に経済的支援の充実が必要である。

総合戦略基本方針の課題と目指すべき方向は。

答

青野町長 第三次振興計画においては、まちづくりの基本方針と基本目標を定めて少子化対策に取り組む。

少子化の要因は結婚・

出産が大きく関連している。未婚化や晩婚化、価値観、経済的事情と女性の社会進出など、仕事と育児の両立を阻害する要素があり、出産、育児をする選択肢が制限されているのではないか。

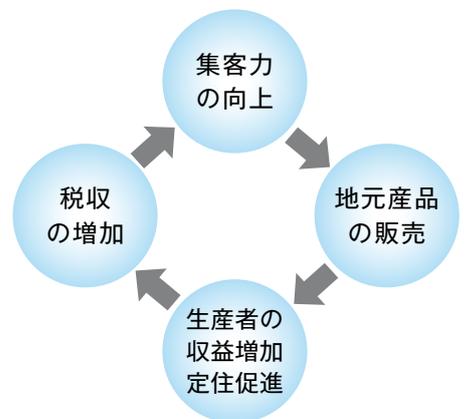
また男性が家事・育児に積極的に関わっていくように、意識改革への取り組みを推進する。

経済的支援については検討が必要だと思う。役場だけで克服できない課題であり、新しい計画で取り組む。

# 質問 DMO設立で地元商工業の支援は

質問

答弁 持続可能な経済循環の仕組みづくりを目指す



問

DMO(観光地域づくり法人)設立で賑わい創出に取り組み、地域間競争に打ち勝つことは大切なまちづくりの総合戦略と考える。

一方で衰退傾向にある地元商工業の支援について、DMO立ち上げで町政としてどうタイアップして行くのか。より良いDMO設立に向けて行政主導で進めて行くことが重要だと考えるがどうか。

答

青野町長 町内には小規模商店経営が多く、価格などに関し大型店との競争にさらされ、町外への消費の流出が進ん

でいる。

商店街の活性化を図り魅力ある商店街づくりに町民全体で支援することが求められている。

企業誘致に係る奨励金を交付する助成制度を設けており、町の遊休地、遊休施設の売却賃貸により企業誘致の候補地として活用を検討している。

また、DMOは地域商社機能を持ち、地域経済の活性化に繋がる役目を持つ。

持続可能な経済循環の仕組みをつくり出すことを目的とした組織づくりを目指す。



山田雄二 議員

質問

振興計画に住民要望をどう生かすのか

答弁

効果的な方法を模索・検討する

**問** 現在策定中の第三次振興計画に「住民役の町づくりを基本方針とし、地域の課題を自ら克服する仕組みづくりを進める」とある。一方で住民の声を取り入れて反映させるという観点からみると、個々の政策において問題点も見受けられる。今後、計画策定にあたり早期に住民に情報提供することにより、振興計画に住民ニーズを反映できないか。住民と行政の間に受け皿となる仕組みが考えられないか。住民役の理念を生

**答** まちづくりを現していくためには、住民ニーズや要望を把握し幅広い世代の意見を取り入れていくことが大切である。受け皿については、小規模多機能自治による地域づくりを推進する。住民生活に直結する個別計画の見直しや新規の策定に当たっては、より効果的な方法について模索、検討する必要がある。



熟議、手づくり振興計画

質問

義務教育学校への意気込みは

答弁

人材育成、地域創生を目指す

**問** 本町は、町村として県下初の義務教育学校創設を打ち出した。しかし、岡山県教育委員会による指導、助言は必ずしも組織的、継続的になされてきたとは言えない。小中教員の人事交流の促進、小中両方免許所有者の採用、大学への小中免許併有要請などの取り組みは全く見られない。県教育委員会の義務教育学校に対する方針をどのように認識しているのか。

**答** 黒瀬教育長 県教育委員会としての調査回答であり、私としてはコメントのしようがない。



待ちに待った建設予定地(書副地内)

**問** 義務教育学校を創ることが町おこしのアピールの場である。自治体として何ができるか町長の思いを示せ。

**答** 青野町長 義務教育学校の創設にあたり、人事・教員の免許状・大学への働きかけなど今後県教育委員会に働きかけていかなければならない。教育による町の再生は、建物を建てるだけが目的ではなく、良い人材を育て地域の創生につながる学校をとの強い思いで取り組む。



金谷高子 議員

## 質問 備蓄マスクの配布はできないか

### 答弁 劣化したマスク配布の考えはない



マスクを作ってみませんか

#### 問

新型コロナウイルスによる肺炎が感染拡大している。予防のマスクが店頭から無くなり購入できない人が多くいることは連日報道されている。

町民から「町に備蓄用マスクがあるなら配布できないか」と問い合わせてあり、担当課に確認したが、マスクが劣化しており使用できないとの回答であった。

③劣化したマスクを配布する考えはないか。  
④今後のマスクの備蓄計画は。

#### 答

清水健康推進課長  
①平成21年度が約1万1,760枚、平成23年度が7,000枚、3年以内が6,850枚残っている。  
②経年劣化しており、新しいものに比べると効果が劣るが、使用には差し支えない。  
③劣化したマスクの配布は考えていない。  
④2月中旬から500枚確保している。発注をしても入手できない。

## 質問 フレイル検診の取り組みは

### 答弁 検診結果を基に適切な改善指導を行う



#### 問

人生100年時代のと言われ、日本人の平均寿命は男性81歳、女性87歳。

一方、健康寿命は平均寿命より10年近く短いとされている。この差を縮めるため、国は令和2年度から75歳以上の高齢者を対象にフレイル（加齢による虚弱化）検診を導入する。

#### 答

山崎保険年金課長  
④配食サービスの利用状況は。

①介護認定の状況からフレイル状態の人がいると推測される。  
②予防の観点から通いの場の充実、参加者の増加に取り組む。  
③フレイルに対応した健康診査は75歳以上の人を対象とする。  
検診結果を基に適切な改善指導を行う。  
④今年度は柵原地域で2つの事業所に委託。配食数は本年1月末時点で1,475食。



延ばそう健康寿命



岩野正則 議員

## 質問 町道の管理体制の再検討を

### 答弁 重要な課題であり十分検討したい

**問** 過疎化、高齢化により地域での町道の維持管理が負担となつている。現在の管理体制を再検討するべきでないか。

**答** 青野町長 近年、高齢化、人口減少により、道路のり面の除草剤散布、草刈りなど、維持管理の路線数、作業延長は増大している。

美咲町シルバー人材センターに道路のり面の草刈り、久米郡森林組合に除草剤散布、側溝清掃、支障木伐採作業など年間を通して委託している。

また、職員で草刈り、支障木除去なども行っているが、各地域の要望に思うように対応できていないのが現状である。

除草剤の散布を地域で実施していただける自治会、常会については、機材の貸し出しを行っており、地域で草刈りなどが困難な路線は、現地確認を行い対応している。

町道の維持管理体制は、町としての重要な課題であり、今後十分検討したい。



維持管理は大変だ！

## 質問 空き家の活用や定住促進に対し制度拡充を

### 答弁 新たな補助事業を検討する

**問** 本町では以前にもまして空き家、空き店舗が目立ってきている。一方で移住者によつてにぎわいをつくっている町村もある。空き家の活用や定住促進などで、具体的な対策はあるか。

また、住宅建築などに対する補助制度が拡充できないか。

**答** 青野町長 人口減少に伴い、空き家、空き店舗が町内に1,000軒以上あり、今後も徐々に増えていく見込みである。

令和2年度より、空き家の活用と町外からの移住を促進するため「空家活用定住促進事業」と「空家活用支援事業」の新設を検討業」がある。

さらに、民間の分譲住宅地を購入した場合の助成についても、検討を進めている。

また、住宅建築などに対する補助制度の拡充については、現在「新築木造住宅普及促進事業」や「定住促進住宅等補助事業」、「町営分譲住宅団地購入補助事業」が実施されている。

光嶋地域みらい課長 町営の分譲住宅団地を加美小学校区内につくることができな



空き家の活用でにぎわう町へ

# 「ほほえみの湯」設置目的を 理解した上での廃止か

質問

答弁

## 健康増進施設ではあるが ご理解をいただきたい



形井 圓 議員



廃止される香花温泉「ほほえみの湯」

**問** 香花温泉「ほほえみの湯」廃止方針が示された。

この温泉は福祉教育ゾーンとして、保育園や小学校、老人ホーム、グラウンドゴルフ場と共に地域の交流の場、高齢者の健康増進を目的に建設された。

多額の経費が廃止の理由だが、設置目的を正しく理解した上で廃止の協議をしたか。

また、条例に基づいた利用料金を徴収していなかったのはなぜか。

**答** 青野町長

香花温泉「ほほえみの湯」の継続・廃止については、健康増進施設ではあるが、長年、役場内で協議をし、議会にも運営状況や廃止も視野に入れ運営していることを伝えてきた。平成30年度は1,540万円の指定管理料に加え、修繕料が490万円と多額の町費を投入している。

**答** 清水健康推進課長

利用料金は、指定管理者より申請があり、町も承認している。

# 介護保険多額の基金の使い道は

質問

## 第8期介護保険料の原資にする



答弁

**問** 介護保険料は、一般会計とは違い、必要な金額だけを徴収する仕組みである。美咲町の金額は県内で比較しても高額であると幾度も指摘をしてきた。

①今年度の決算見込みとこれまで幾らの基金を積み立てたのか金額を示せ。

**答** 山崎保険年金課長  
①今年度の予備費は、

町に必要な介護サービスの総費用 × 65歳以上の方の負担分23% ÷ 町に住む65歳以上の方の人数

＝ 美咲町の2018～2020年度の保険料の基準額 7,000円(月額) / 84,000円(年額)

社会全体で介護保険を支えています

65歳以上の方の介護保険料の納め方

町で必要な介護サービスの総費用 × 65歳以上の方の負担分23% ÷ 町に住む65歳以上の方の人数

＝ 美咲町の2018～2020年度の保険料の基準額 7,000円(月額) / 84,000円(年額)

所得区分	所得区分	標準額	保険料(円)
第1期 生活保護受給者等	所得区分	標準額	保険料(円)
第2期 世帯年収が80万円以下の方	所得区分	標準額	保険料(円)
第3期 世帯年収が80万円超120万円以下の方	所得区分	標準額	保険料(円)
第4期 世帯年収が120万円超180万円以下の方	所得区分	標準額	保険料(円)
第5期 世帯年収が180万円超240万円以下の方	所得区分	標準額	保険料(円)
第6期 世帯年収が240万円超300万円以下の方	所得区分	標準額	保険料(円)
第7期 世帯年収が300万円超360万円以下の方	所得区分	標準額	保険料(円)
第8期 世帯年収が360万円超420万円以下の方	所得区分	標準額	保険料(円)
第9期 世帯年収が420万円超の方	所得区分	標準額	保険料(円)

適切な介護保険料の徴収を

②基金については、第8期計画の保険料抑制のための原資にした。

**答** 青野町長

は、約7,800万円。第5期分の借り入れ8,910万円は返済した。基金は、平成30年度末で約1億2,000万円。令和元年度で約6,600万円を積立て、合計1億8,600万円となる。



藤井智江 議員

# 質問 国民健康保険税均等割りの減額を

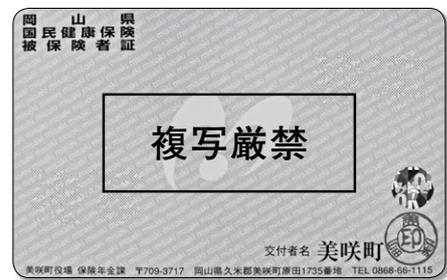
## 答弁 減額は考えていない

**問** 国民健康保険事業費の令和2年度の岡山県への納付額は元年度に比べ幾ら減額か。1世帯当たり幾らの減額か。

**答** 山崎保険年金課長 令和元年度に比べ約4,446万円の減額。1世帯当たり2万1,640円の減額になる。子ども医療費助成で、18歳未満の自己負担分を公費で助成しているので均等割の半額や、3歳未満の減額も考え

**問** 国民健康保険の基金は9,600万円である。18歳未満の均等割を半額にした場合160万円余り、3歳未満を全額免除した場合35万2,000円。

**答** 山崎保険年金課長 18歳未満の子どもがいる家庭の負担を軽減できない理由は、国民健康保険法施行令に基づき、所得割額、均等割額、世帯割額の合計を課税し、所得基準を下回る世帯には一部の減額をしているため。



注意事項  
1. 保険証を紛失等において診療を受けようとするときは、必ずこの証をその窓口で渡してください。  
2. 被保険者の資格を喪失したときは、直ちにこの証を美咲町に返してください。

備考  
以下の欄に記入することにより、臓器提供に関する意思を表示することができます。記入する場合は、1から3までのいずれかの番号を○で囲んでください。

1. 私は、脳死後及び心臓が停止した死後のいずれでも、移植の為に臓器を提供します。  
2. 私は、心臓が停止した死後に限り、移植の為に臓器を提供します。  
3. 私は、臓器を提供しません。  
(1又は2を選んだ方で、提供したくない臓器があれば、×をつけてください。)  
[ 心臓・肺・肝臓・腎臓・膵臓・小腸・眼球 ]

(特記欄)  
署名年月日： 年 月 日  
本人署名(自筆)： 家族署名(自筆)：

高すぎないか国保税

### 質問

## 地域活性化に住民の参画を

### 答弁

## 住民の積極的な参画が理想

### 問

柵原東小学校と柵原西小学校を統合し、柵原中学校と一体化する「義務教育学校」の建設、香花温泉「ほほえみの湯」の廃止など、町民への十分な説明と話し合いがされないまま決定され、町政に対する信頼を損ねたのではないかと、地域活性化には、町民の町政に対する信頼、積極的な参画が欠かせないのではないかと、青野町長

問 旧厚生小学校の跡地活用についても、住民への説明と話し合いが不十分であると捉えている。

### 答

忠政副町長 旧厚生小学校については、町長が決められている訳でなく、地域の人々が今のままが良いのであれば、我々もそれを無視して譲渡すると言う結論にはならない。

答 町政が信頼されることは、あらゆる場面でもとても大切であると認識している。住民の積極的な参画が理想の姿と考えているが、まず関心を持つ



活かせ住民の意見

質問 広域汚水処理に向けた今後の展望は

答弁 岡山県の計画に協力し検討する



松田英二 議員

**問** 柵原地域の下水道処理は3つの浄化センターで運営されている。

将来予測される人口減少に伴う料金収入の減少、技術系職員の不足、老朽化に伴う施設の更新などを考慮した場合、飯岡・吉岡の各浄化センターを柵原浄化センターに統合するべきと考えるがどうか。

**答** 山本柵原総合支所産業建設課長

町内の下水道施設統廃合を検討し、飯岡処理区を柵原処理区に統合することが有利との結果を受け、令和2年度から工事を進めています。

**問** 国土交通省などの関係省庁では、全国の都道府県に対して

下水道施設の広域化・共同化推進を通知している。岡山県でも令和4年を目途に広域化に向けた計画策定に取り組んでいるが、最終的には

隣接する吉井浄化センターなどの広域汚水処理の方向性を進めるべきである。

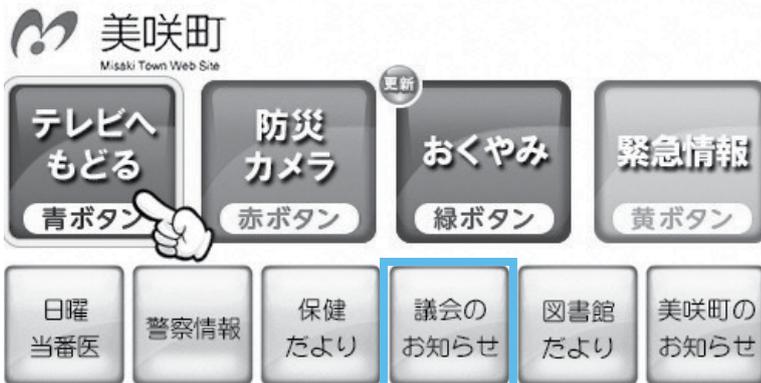
**答** 青野町長

個別の事案についての具体的返答はできないが、今後、岡山県の計画策定に協力し下水道の広域化・共同化について検討する。

柵原地域の下水道処理場

	飯岡浄化センター	吉岡浄化センター	柵原浄化センター
処理人口	1,300人	1,300人	1,500人
供用開始	平成12年度	平成20年度	平成22年度
処理能力	日処理351㎡	日処理351㎡	日処理900㎡
処理量	日処理量190㎡	日処理量180㎡	日処理量240㎡

みさきテレビのデータ放送(dボタン)が変わりました  
(議会の画面に注目)



令和2年4月1日からみさきテレビ(12チャンネル)のデータ放送(dボタン)がリニューアルされました。

これにより見やすい画面となり、中でも議会の活動がより分かりやすくなっています。

「議会のお知らせ」ボタンをクリックして議会の情報を共有していただければ幸いです。

表紙の紹介



仲良く遊んでいる兄妹のお兄ちゃんは今春から小学生。真新しい制服に身を包んだ頼もしい姿と、ピカピカのランドセルを見せてもらいました。

# みんなで手話を理解しましょう



## ピックアップ 手話言語条例が制定されました！

これまで手話が言語として認められていなかったことから、ろう者（聴覚障害者）は必要な情報を得ることやコミュニケーションを取ることができず、多くの不便や不安を感じながら生活してきました。

こうした中「障害者の権利に関する条約」および「障害者基本法」において手話が言語として認められましたが、手話への理解や普及への取り組みは十分とは言えません。

ろう者全ての人が手話を使って安心して暮らせることができ、障害の有無にかかわらずお互いに尊重し、支え合いながら共に安心して暮らせるまちづくりを推進するためにこの条例を制定しました。

## 手話言語条例を全会一致で可決

こんにちは



ありがとう



美咲町議会で「美咲町手話言語条例」が全会一致で可決されましたこと、青野町長の「当初予算に手話通訳士の手配にかかる経費を盛り込んでおり、手話で窓口対応が出来ればと考えている」とのお言葉に感謝しています。

今後とも、ろうあ者への理解の輪が広がりますよう、美作ろうあ協会としましても活動を行ってまいりますのでよろしくお願いします。

岡山県聴覚障害者福祉協会 美作支部長 田中勝文

## 令和2年6月定例会の予定

令和2年6月に予定されている美咲町議会定例会は6月1日開会～6月12日閉会の12日間、一般質問は6月2日～3日の2日間を予定しています。

(なお、日程が変更される場合にはみさきテレビなどでお知らせしていきます。)

表彰

# 美咲町議会だよりが全国コンクールで 優良賞を受賞しました。

全国274の応募の中から全国第9位に選ばれました



この度、美咲町議会  
広報紙が、町村議会  
広報全国コンクールに  
おきまして、栄えあ  
る優良賞(第9位)  
に輝きました。本町  
はもとより、岡山県内の  
町村の中でも過去最高の  
受賞であります。

町民皆様の知りたい情  
報をいかに、わかりやす  
く伝えるか。日頃の議員  
活動、編集作業の積み重  
ねが評価されたものであ  
ります。



今後も、さらに研さん  
を重ね、気軽に手に取っ  
て読んでいただける誌面  
づくりに努めてまいりま  
す。(松島記)

## 地方自治の進展に尽力

議員活動を通じて多年にわたり地方自治  
の進展に尽くした功績が認められ、美咲町  
議会から貝阿彌議員が受賞しました。

◆岡山県町村議会議長会  
自治功労者表彰

貝阿彌 幸善 議員



## 編集 後記

美咲町議会だ  
よりは、1年に4  
回招集される定  
例会ごとに発行しています。  
今回は編集の一部を紹介い  
たします。

編集委員会では、委員長  
が作成した編集方針案を基  
にページ構成などの検討を  
行い各項目の担当を決めま  
す。委員はそれぞれ割り当  
てられた項目の原稿を本会  
議の粗原稿などを基にまと  
めます。

また、一般質問は質問者  
が作成した原稿に写真を添  
えて提出します。そして、  
委員が文字数、文体を整え  
ます。

それぞれの原稿を事務局  
で集約し、データを印刷に  
回します。返送された原稿  
は4回程度の委員会を開催  
し、用語、レイアウト、写  
真などの検討を行い、最後に  
議長の決済を受けて校了と  
なります。

今後も皆様にわかりやす  
い誌面づくりを目指してい  
ます。(左居記)

議会広報編集特別委員会

委員長 松田 英二

副委員長 藤井 智江

山田 雄二

延原 正憲

左居 喜次

岩野 正則